

若事研広報

No.225

編集・発行

岩手県公立小中学校

事務職員研究協議会

総務部

令和8年2月27日

第2回支部代表者会

期日：令和7年12月5日

会場：盛岡市都南公民館

令和7年度第2回支部代表者会が開催され、本年度の事業報告、各部の協議提案が行われました。主な内容は次のとおりです。



(1) 総務・財務関連

○決算見込と予算執行：繰越金が多いため、ホームページ改修（SSL化やWi-Fi環境整備）への予算配分を増やす案が出されました。

○事務負担の軽減：振込手数料節約のため、会費と研修会参加費の一括徴収の検討、および令和8年度に向けた予算・会費・研修申込のシステム連携が提案されました。

○役員への配慮：旅費支給がない役員への駐車場代支給について

て意見が出されました。

(2) 研修・研究大会関連

○全体研修会総括：職層別研修の継続を希望する意見がありました。

○第52回岩手県公立小中学校事務研究大会：会場名が令和8年4月より「アイーナホール」に変更される旨、修正共有されました。

○次期研究大会計画と分科会：事務職員数減少に伴い、分科会を減らす意見や、当該支部からの発議として支部統合を含めた検討を行うことが確認されました。

○第5回全体研修会…参加者は240名と予想を大きく上回った。←職層別研修における講師との事前打合せが有効であり、今後も継続を希望する意見がありました。

○令和8年度第52回岩手県公立小中学校事務研究大会：令和8年10月16日（金）

※次期研究大会計画について、各支部から以下の意見、状況が報告されました。

二戸支部：研究大会の日程が学習発表会・文化祭と重なり参加減が懸念。配慮を希望。

九戸支部：R8より7校減。臨時職員の参加促進が課題。

下閉伊支部：支部統合の影響あり。

釜石支部：「研究はもうしなくていい」という声。分科会数を2つにしてはどうか。

気仙支部：旅費不足により臨時職員の参加が難しい。

一関支部：来年度までに研究内容を検討し、発表を決定予定。

胆江支部：評価項目の見直しが必要。

遠野支部：統廃合の影響が見込まれる。

花巻支部：未加入問題。実務に直結する研究なら参加が増えるのではないかな。

岩手支部：病休が多い。ジョブローで出た人が戻りたいと思える魅力づくりが必要。

盛岡支部：グランドデザインの更新が必要。発想の転換を。

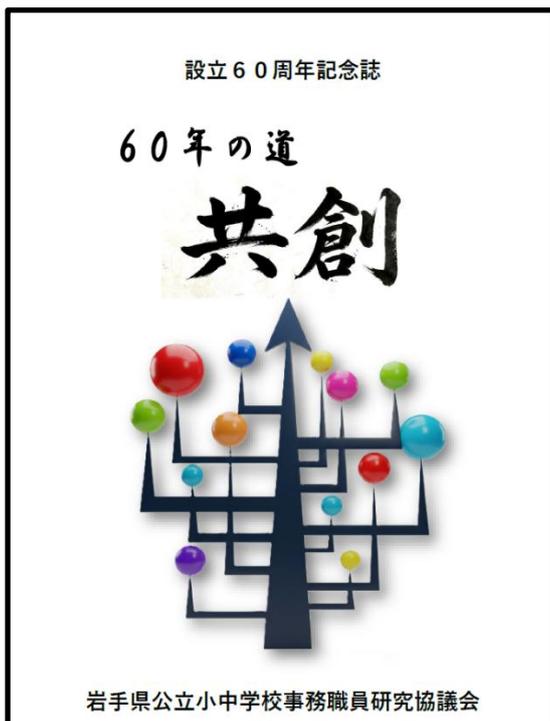
(3) 研究・調査関連

○調査の効率化：級号給調査について、支部の負担軽減のためフォーム等による一括実施はできないか。

○特別委員会の設置：新計画の検討特別委員会を設置し、7年度中に開催予定。

○統合型校務支援システム：令和8年4月県内すべてに導入されます。操作等については「まずは慣れる」ことが求められ、具体的な要望は各市町村教委へ伝えるよう案内されました。

60周年記念誌



当協議会は、本年をもちまして設立60周年という大きな節目を迎える運びとなりました。この記念すべき佳節を祝し、当協議会では記念誌「60年の道」―共創―を編纂・発行いたします。

本誌は、還暦を迎えた当協議会の歴史を回顧するとともに、未来への指針を示す一冊として構成されております。巻頭には関係各位より賜りました心温まる祝賀の辞を掲げ、続く本編では、激動の教育情勢の中で歩んできた研究協議会の変遷や、各支部が地域に根ざして展開してきた創意工夫あふれる活動の軌跡を記録いたしました。

これまでの60年という歳月で積み上げてきた研鑽と情熱を「歩み」としてまとめ、それを礎に、私たちがこれから歩むべき「今後への展望」を「共創」というテーマに込めて描き出しております。

記念誌の完成・発行は3月中を予定しております。発行後は、各支部の事務局を通じて順次、会員の皆さまのお手元へお届けいたします。本誌が、会員各位にと

ってこれまでの職務を振り返る契機となるとともに、次なる時代を切り拓くための新たな一歩を照らす道標となれば幸いです。お手元に届くまで、今しばらくお待ちください。

第57回全国公立小中学校事務研究大会

第57回全国公立小中学校事務研究大会が令和7年7月31日(木)～8月1日(金)に滋賀県大津市で開催され、参集・オンライン併せて1,747名が参加しました。岩手県から参加された2名の方の参加報告を紹介します。

大会テーマ「 学びの環境を創造する学校事務 」

～ 三方よしで 学校まるごと ウェルビーイング ～

<分科会>

全事研本部、京都支部、大阪(小)支部、大阪(中)支部、兵庫支部、奈良支部、和歌山支部、滋賀支部

岩泉町立小本小学校
渡部 美友 さん

今回の年次別課題は「学びの環境整備」でした。全体研究会では、学校予算の在り方を見直し、柔軟に予算執行を行うために外部資金の獲得・学びの環境整備を創り上げるために予算委員会を設置し、子ども達が安心安全な学校生活を送れるように効率的な予算執行を心がけているとのことでした。

2日目の分科会では、「創造しよう！教育を活かす学校事務を」に沿った取組を基本方針とし、事務職員のマネジメント力を活かした校務運営への関わりをテーマにした発表でした。また、子どもも大人も笑顔輝く学校にするために私が挑戦したい取組内容を考え、近くに座っている他県の方と共有し、取組が上手くいくためのアイデア等について交流をしました。



宿から望む琵琶湖



一関市立川崎小学校
渡邊 凱斗 さん

私が参加した本部研究分科会では、「マネジメント空間の拡張」をすることで児童生徒のウェルビーイングを最終目標とした教職員の働き方改革に大きく貢献できるとの発表でした。本分科会で体験できたクリエイティブな学びを、教室・職員室・共同学校事務室で、どうすれば再現出来るのか考える良い機会となりました。

これを機に、単なる事務処理に完結せずに、学校運営に幅広い専門知識から参画できる事務職員となるために、さらに学びを深めていきたいと強く感じました。

大会前日に東北地方に津波警報が発令されていたこともあり、イレギュラーな参加になってしまいましたが、なんとか初参加の全国大会を終えることができ、良い経験となりました。

祝賀会場
(びわ湖ホテル)



令和8年度のお知らせ

5月1日(金)	岩手県公立小中学校事務職員研究協議会総会(書面表決)
7月30日(木)～ 7月31日(金)	第58回全国公立小中学校事務研究大会佐賀大会
10月16日(金)	第52回岩手県小中学校事務研究大会 会場:キオクシアアイーナ

